



学校だより



令和7年1月発行

特別号

横浜市立小雀小学校

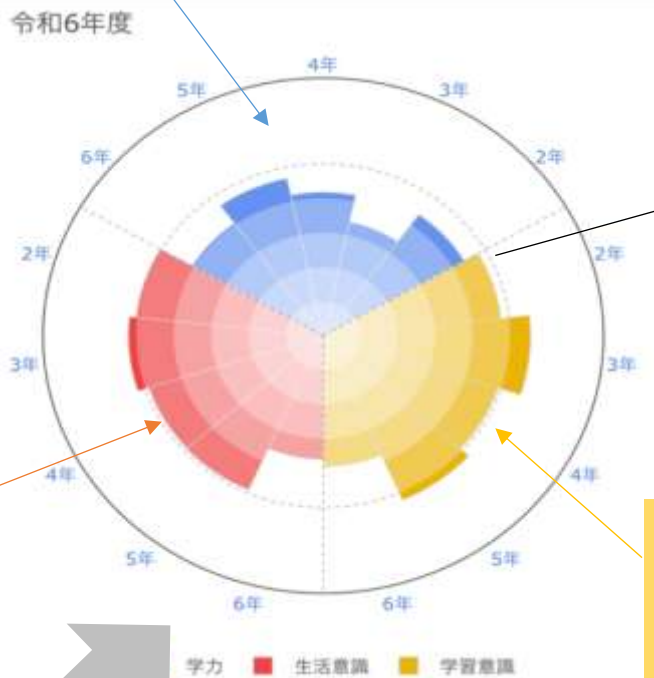
## 令和6年度 横浜市学力・学習状況調査 報告

2024年4月に実施された横浜市学力・学習状況調査の校内分析結果についてお知らせします。年度初めの調査結果をもとにした分析となりますが、これまでの本校での取組内容と関連付けて、子どもたちの伸びを分析しました。

【令和6年度 横浜市学力・学習状況調査 学校全体チャートの結果】

### 【教科学力】

横浜市の平均を下回っている結果となっています。

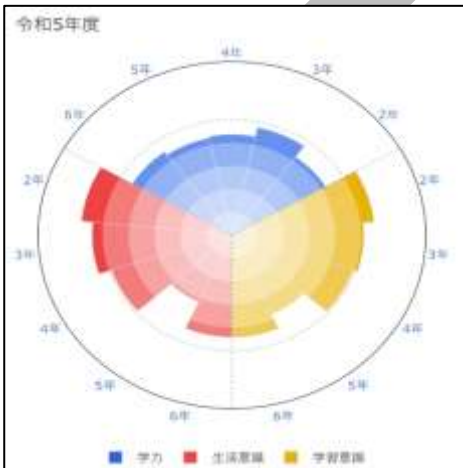


### 【生活意識】

学年によって、散らばりがありますが、横浜市の平均に近い結果となっています。

### 【学習意識】

学年によって、散らばりがありますが、横浜市の平均に近い結果となっています。



### 分析結果

令和5年度の結果と比べても、学力については横浜市の平均を下回る結果となっています。一方で、生活意識や学習意識に関しては、学年によって散らばりはあるものの、横浜市の平均に近い結果も見受けられます。

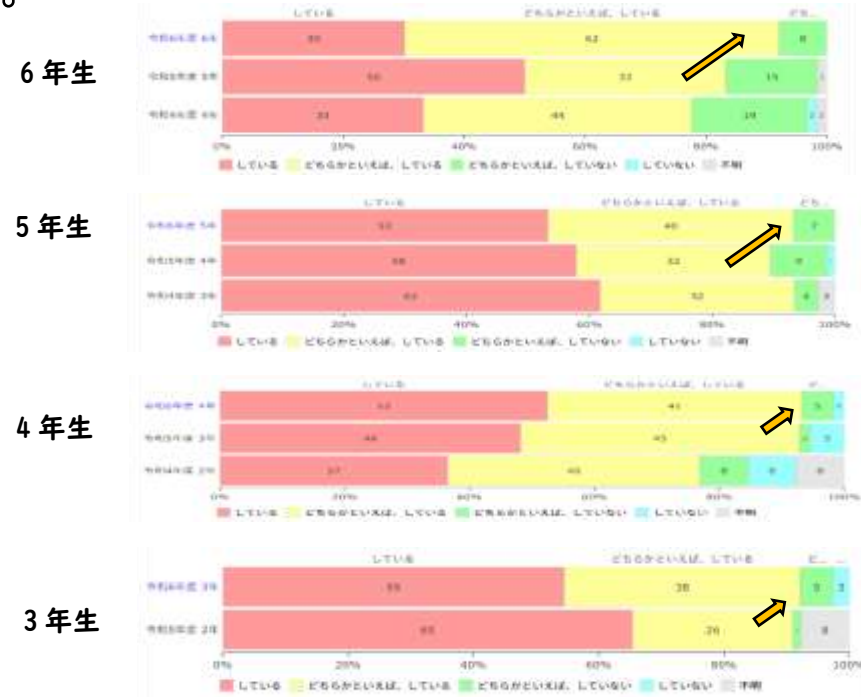
横浜市の平均との差から、

- ・学力については、平均と差があるため課題が残ると考えられる。
- ・生活意識については、学年が上がるにつれて意識が低下していく傾向がある。
- ・学習意識については、学年によって多少の変化はあるが、大きな変動は見られない。

【校内研究テーマ1 <自分の考えを、相手に分かるように伝えようとしていますか>について】

子どもたちが、自らの学習を友達と考えを伝え合い、魅力ある学習を進めることができるように、本校では「伝えることのできる子」の育成を目指し取り組んでいます。まずは、自分の考えをもち、友達と共有する中で伝える目的や手段を選び、自分の考えを伝え合えることを目指しています。これらのことを重点取組課題として捉え、具体的な取組を進めています。

本年度データ①



分析結果①

各学年の<自分の考えを、相手に分かるように伝えようとしているか>について、過去年度との比較をした棒グラフになります。全学年で、肯定的に回答をしている子の割合が増えました。要因として考えることは、授業を伴う研究会やペアやグループなどの小集団の中で自分の考えを伝える機会を意図的に設定している本校の取組の成果が繋がっていると考えられます。本年度の数値は、3年生以上の学年で、横浜市の平均よりも高い数値を示していました。

本年度データ②

<自分の考えを、相手に分かるように伝えようとしている>意識が高い子どもほど、学力層Aの子どもの割合が多い傾向にある。



分析結果②

6年生のデータを見ると、学力層A(正答率が高い子)になるほど、自分の考えを相手に分かるように伝えようとする子の割合が多くなっていることがわかります。昨年度から重点的に指導している「伝える内容、方法、目的」を意識した授業づくりが関連していると考えます。

本年度データ③

<自分の考えを、相手に分かるように伝えようとしている>意識が高い子どもほど、<言葉のもつよさを感じながら、国語科の学習をしている> 子どもの割合が多い傾向にある。

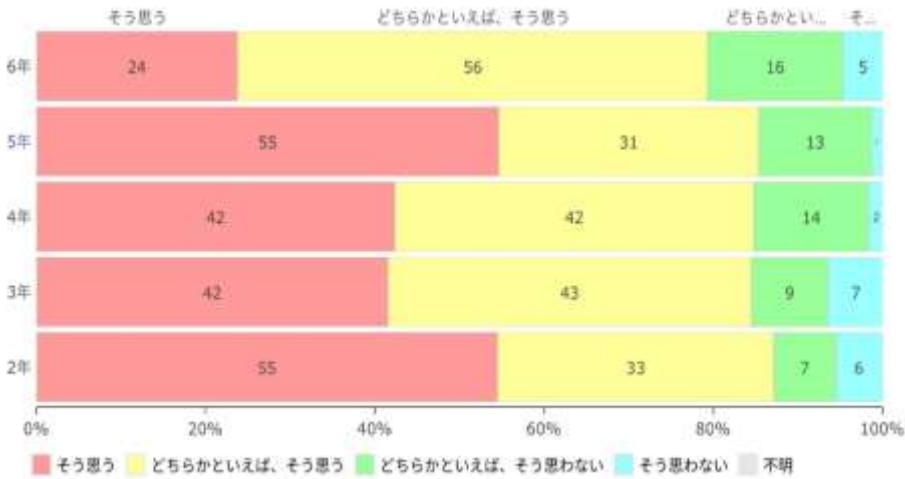


<自分の考えを伝えようとする子>と<国語科の学習意欲>が関連していることがわかります。自分の考えをもち相手に伝えようとする学習の機会が、国語科に対する意欲の向上につながるのことが見えてきました。これまでの「思いや考えを言葉にして表現すること」を大切にされた指導が、伝える力と関連していると考えます。

【校内研究テーマ2 <自分にはよいところがあると思いますか>について】

子どもたちが、自分や友達のよさが見つかることができるように、毎年、人権週間を中心に、子どもたちの意識の変容を読み取っています。子どもたち自身が自分の得意なことや苦手なことを知り、自分の成長につなげることができるようにしています。

本年度データ①【横浜市学力・学習状況調査】 4月



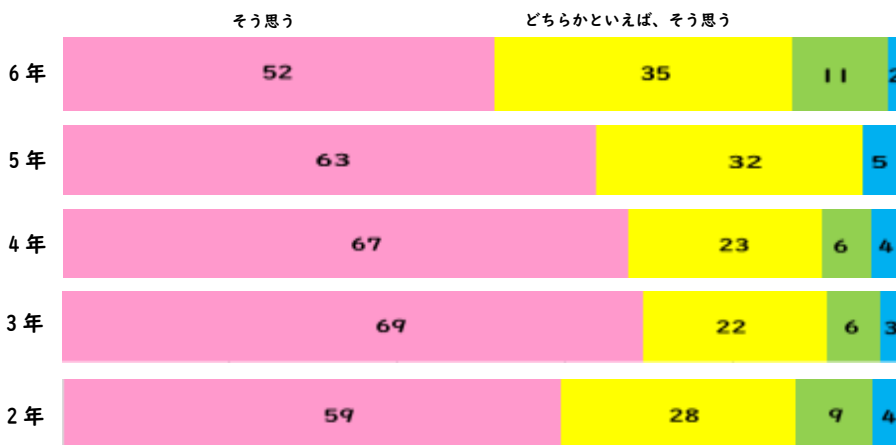
分析結果①

<自分にはよいところがあると思いますか>について、各学年の意識調査を棒グラフに示したものになります。全学年で、80%以上が肯定的に捉えている結果となりました。

一方で、自分のよいところに気付くことができず、自分のよさを認めることが難しい子どもがいることが結果から読み取ることができます。

そこで、本校では令和6年度の12月にこの結果を踏まえ、人権週間で、「自分らしさを見つける」取組を実施しました。

本年度データ②【人権週間 活動後アンケート】 12月



分析結果②

4月の結果を受けて、12月の人権週間では、下記のような取組を実施しました。

- ・職員による読み聞かせ
- ・児童専任による話
- ・パラアスリートによる講演会
- ・子どもたちが考えた活動

各クラスで、「自分らしさや〇〇さんらしさ」を見つける活動を2週間程度実施しました。

アンケートの結果からも分かるように、前学年で肯定的に答えている子どもの割合が増えました。

「自分のよさ」について、よいところも苦手なところも自分らしさであると子ども自身が考え、活動を通して自分を見つめ直せたことが関連していると考えます。



【保護者の皆様へ】

学校教育目標「豊かに学び、認め合い、咲かせよう笑顔と満足の花」

学校教育目標の実現に向けて、横浜市学力・学習状況調査の結果を一部抜粋し、分析してきました。本校で取り組んできたことをもとに、子どもたちの伸びを分析することは、学校教育目標に近づくと考えています。教科学力・学習意識・生活意識の向上を目指すことはもちろんですが、何よりも小雀小学校で大切にしているのは、一人ひとりの「笑顔と満足の花を満開に咲かせることができるようにすること」です。今後も、取組を継続し、子どもたちにとって魅力的な学校づくりを進めていきます。今後とも、よろしくお願いいたします。